

体験学習で学校を変える

堀 真一郎さん著

著者は子どもには体験学習が大事だと気づき、大阪市立大教授を辞め、和歌山県橋本市に拠点を置く「きのくに」をつくった。目指すのは海外で注目を集めた欧州の「サマーヒル・スクール」だ。

私立学校をつくるには資金が必要。「きのくに」は堀さんの資金のほか、保護者や企業の寄付でまかされた。

先生を先生と呼ばず名前で呼ぶ。教科書に頼らず、体験プロジェクトをつくり、話し合いにはたっぷり時間を使う。どの子どもも体験は楽しいと言う。体を使い皆と力を合わせてできるから。

和歌山県教委は深い関心を寄せ、応援する。県教委も現在の教育制度には限界を感じているのだ



ろうか。

「きのくに」の活動は全国に飛び火し、福井県勝山市、北九州市、山梨県南アルプス市、長崎県東彼杵町が続く。子どもたちの笑い声が聞こえて来そうな一冊だ。

A5判、158頁。1980円(税込み)。名古屋市中区丸の内3の6の27、EBSビル、黎明書房=052(962)3045=発行。

個からの出発 ある在日の歩み

外国人 接し方は

在日韓国人の筆者・崔さんは川崎市に住み、さまざまな仕事に取り組んできた。川崎市は共生文化を発信してきた街。

日本の国籍のない外国人は選挙権がない。大手企業で働くこと、東京都の公務員への働き方に対する厳しい法律にも目を向ける。

本書は3部構成。自身

の生い立ち、生きるために事業を継承し、地域社会の当事者として「共生の街・川崎」を思う気持ちを深める。

在日外国人の選挙権にも重点を置く。選挙権を認めるか、認めないか。増えてきた外国人への接し方を学び、考える。

四六判、302頁。1980円(税込み)。名古屋市中区大須1の16の29、風媒社=052(218)7808=発行。

みんなの本



⑤変形キャンバスに宇宙観を映した油彩作品を並べた大山さん ⑥花の文様をレリーフ状に浮き立たせた陶作品を並べた早瀬さん(いずれも西区則武新町3のノリタケの森ギャラリー)

宇宙を絵に花、草を陶芸に

岡崎市の画家、大山千恵さん(右)と一宮市の陶芸作家、早瀬聡美さん(左)の個展が二十五日、西区則武新町三のノリタケの森ギャラリーでそれぞれ始まった。三十日まで。

大山さんは「MULTI BIRTH 宇宙を環流しつづける生命的なエネルギー」がテーマ。素粒子や宇宙のエネルギー体に見

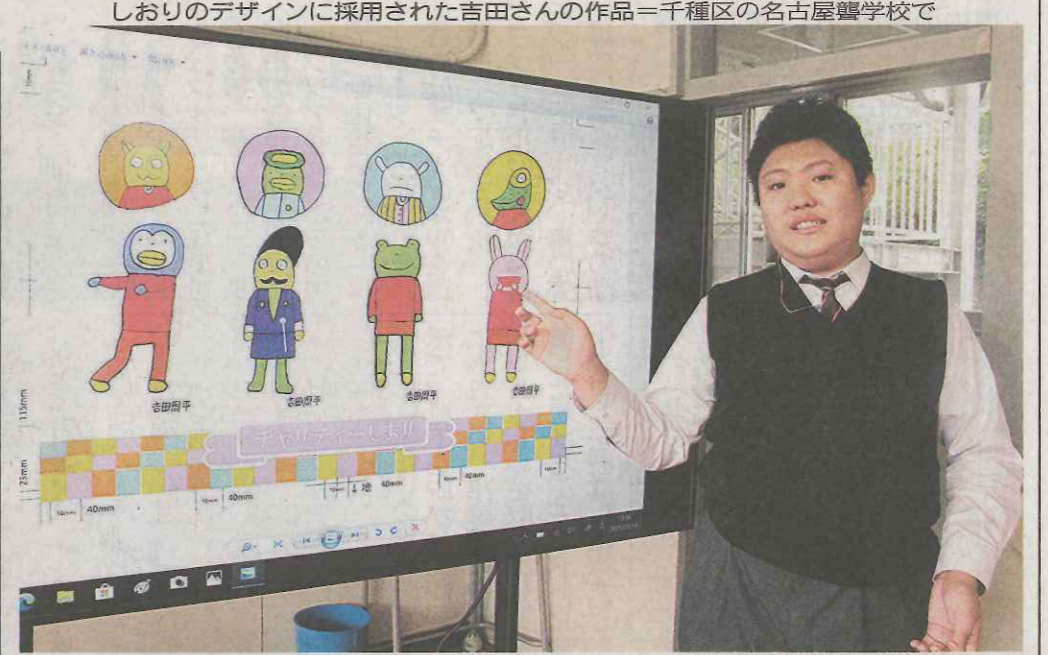
立てた内や球体を、羽根や半月盆状にベニヤ板を加工した自作の変形キャンバスに、色とりどりに描いた油彩作品百五十四点が並ぶ。

宇宙、生命の起源に興味を持ち、三十年来追求し続ける。円や球体を組み合わせた描画だけでなく、素粒

子を表す記号を彫ったり、キャンバスの形を、蛇が口で自分の尾を飲み込む循環のシンボル「ウロボロス」の形に加工したりと、表現に趣向を凝らす。大山さんは「作品の中に自分の姿を映し込み、宇宙の物語を感じてもらいたい」と話した。

早瀬さんは、花と草がモチーフ。皿やカップ、花器のほか、一部に流木を組み合わせた陶板の壁掛け、モビールなども含めて二百点近くを展示した。

ベージュがかった白い土を削り込み、ツバキやツクシ、フウセンカズラなどさまざまな植物の文様をレリーフ状に浮き立たせている。彩色も、淡く控えめなものも多く、土のぬくもりを感じる優しい雰囲気の商品が並び、



しおりのデザインに採用された吉田さんの作品=千種区の名古屋聳学校で

滑稽な表情 明るい動物絵

書店で販売のしおりに

名古屋聳学校の吉田さんデザイン

ウサギやカエル、ペンギンといった動物や、オニやかっぱなどを擬人化したキャラクターたちは、明るい色彩とユーモラスな表情が印象的。ペンで下絵を描き、タブレット端末を用いて色を付けた。完成した作品を前に、吉田さんは満足そうな笑顔を浮かべる。吉田さんは時間があれば筆を走らせるほど、絵を描くのが好き。担任の鈴木亮介教諭(宝は「手先が器用で折り紙も上手。きちっとした作品を作ろうとする」と話す。昨年には卒業生全員の似顔絵を描し(守山区)に寄付される。

新聞交換日記で 記事の内容が字ぶ

緑区・桃山小で授業

子どもたちに新聞に親しんでもらおうと、緑区の桃山小で二十四日、興味を持った記事の感想を伝え合う「新聞交換日記」を使った出前授業があった。

子どもたちは新聞に親しんでもらおうと、緑区の桃山小で二十四日、興味を持った記事の感想を伝え合う「新聞交換日記」を使った出前授業があった。

友達と交換。その後、それぞれの感想を話し合った。写真。名駅のジェイアール名古屋高島屋で開かれた男性用化粧品品の催事の記者を選んだ男児は「お化粧品は女性だけのものではないと思っ」と話した。



殺人未遂事件を想定 緑署が緊急配備訓練

緑署は二十四日、殺人未遂事件を起こした犯人が車で逃走した事件を想定し、緑区内で緊急配備訓練を行った。写真。刑事、地域課などの署員五十六人が初動と連携を確認した。

区内のコミュニティセンターで二人組の男が拳銃を発砲し、市民が巻き込まれ、犯人の二人は車両で逃走したと想定。逃走する被疑者役を、パトカーと捜査車両が無線で行き交わし追跡し、約一時間半後、同区の大高緑地の駐車場に追い込んだ。

駐車場ではパトカーと捜査車両が逃げた犯人の車を挟み、防弾チョッキを着た署員が犯人役に車から降りるよう呼び掛け、二人を逮捕して訓練を終えた。



緊急医

26日◇初期医療機関▽内科・小児科 名古屋市中区医師会急病センター 11-東区052(9337)7821 (後7・30~翌前6)、南部平日夜間急病センター 11-南区052(611)0990、西部平日夜間急病センター 11-中区052(361)7271、東部平日夜間急病センター 11-守山区052(795)0099 (後8・30~11・30◇夜間相談窓口▽医療機関案内052(263)1133(24時間対応)HPは「愛知県救急医療情報システム」で検索、子どもあんしん電話相談052(933)1174(後8~翌前0)、小児救急電話相談#80000、短縮ダイヤルが使えない場合は052(962)9900(後7~翌前8)